

1951

發元日時	受宛(通報時)	令達報告等	別種
八日元 艦領長官	八日一九〇〇 艦領部隊各指揮官 軍令部總長、 二艦隊、 大將、 五艦 官、 司 二十六航 司令官	横鐵機密第五九八番電 横空司令ハ明九日左ニ依リ飛行索敵スヘシ 〇九〇〇發大吠崎ノ五五度ヨリ一二〇度間五〇〇 津	無
八日 艦 領 長 官	八日二二〇〇 艦 領 一 般	横鐵機密第五九七番電 横鐵通商保護情報第四三號	
八日 艦 領 長 官	八日二二〇〇 艦 領 一 般	一、八日一〇一七東京灣口ニ於テ敵潛艦鏡ヲ認メタ ル船アリ 二、八日夜洲ノ埼、劍埼、城ヶ島燈籠消燈セリ 浦賀水道ノ夜間航行ヲ禁止ス	
海軍	機密橫鐵命令第二八四號 機密橫鐵命令作第八七號 機密橫鐵命令作第八七號 機密橫鐵命令作第八七號	醫官ハ部下職員ヲ派遣シ赤城ニ流行ノ細菌性赤痢 ノ防疫作業ニ協力セシハベシ	

シ
横須賀防備戦隊司令官ニ左ニ依リ防潜網ヲ設置スベ

設置順序	數	設	位	間
一	○	雷音塔	ノ八五度二三〇〇米ヨリ力	
二	九〇	觀音塔	ノ一二、〇〇米	
	〇度	塔	ノ一二、七七〇〇米ヨリ	
	度	塔	ノ一二、五〇〇米ヨリ	
軍務機密第六六〇番電				
修理ノ爲成ルベク速ニ大潮ヲ御候ニ潮潮ヲ與ニ回航				
セシムル機取計ハレ度				
尚山艦ハ横須賀ニ於テ修理セシメラル大潮、潮潮、				
山艦ハ五月十五日附特別役務端ト定メラル豫定				
大潮機密第四一一番電				
六、五月五日二一〇〇新東北丸（特掃）ハ大王崎ノ二				
一六度二〇浬ニ於テ敵浮上潛水艦ヲ發見攻撃セル				
モ効果不明				
六、五月六日				
（1）〇六一五被護衛中ノ陸軍輸送船大榮丸（二二二一				
七噸）ハ北緯二八度二五分東經一二三度三十七分				
海軍				
電				

八日一七〇〇	八日二〇一五	八日基地機雷第八〇番電	無	三、哨戒部隊指揮官ハ今夜航門浮標ヲ消燈セ	(艦隊參謀長)	シ對潛艦取手ナセ
八日一九四〇	八日二〇二〇	○八五〇頃伊豆半島上空飛行中ノ敵機一二機燃焼一 五機ハ艦中ニ入りタル爲艦載隊小隊毎二分離セリ	加構 鎮參謀長	小隊ト合同艦投セルモ一、三番機ハ艦投セズ艦機一 機モ又編隊ヨリ分離爾後消息不明甲斐二飛曹ノ外艦	甲斐二飛曹 (三乳橋) ノ原セル小隊ハ二番機ノミ他	小隊ト合同艦投セルモ一、三番機ハ艦投セズ艦機一 機モ又編隊ヨリ分離爾後消息不明甲斐二飛曹ノ外艦
八日一七四〇	八日二二〇〇	我敵潛水艦ノ攻撃ヲ受ク 東經二二七度四〇分北緯 三〇度五〇分	敏大ナリ 捜索方御手配ヲ得度	一樓 (二階堂大尉) 艦機一機 (佐藤二飛曹、松家 二飛曹、竹村一整曹) ハ伊豆半島附近ニ不時着セル	甲斐二飛曹 (三乳橋) ノ原セル小隊ハ二番機ノミ他	小隊ト合同艦投セルモ一、三番機ハ艦投セズ艦機一 機モ又編隊ヨリ分離爾後消息不明甲斐二飛曹ノ外艦
八日防備部隊指揮官	八日防備部隊指揮官	海面防備部隊機雷第一二五番電	無	二、駆逐ハ濱沖ニ轉泊對潜戒視張チ實施スベシ	第一掃除隊 (第三二艤潛艇艇) ハ濱口附近ヲ嚴重 警戒シ敵ヲ徹底的ニ制壓攻撃スベシ	二、駆逐ハ濱沖ニ轉泊對潜戒視張チ實施スベシ

9960

別種細則	電	告報	確	令	受領(通報時)	元日時	發元日時
機密第六〇六番電 獨國輪ディセル船 D七八四〇噸速力一五節船尾二十五噸砲一門裝備 海在、館空、	・	・	・	・	・	ヒ〇一〇六非常警報解除九日〇九〇〇	機密第五九九番電
横鎮機密第六〇五番電 九日一三一〇西寧丸(四九一六噸)北緯三四度十分東經一三六度四六分ニ於テ雷跡四本ヲ認ム命中セズ	・	・	・	・	・	三崎無線ハ一四二〇左ノ電傍受セリ心當リ知ラサレ度一四〇〇、一五五度二〇分四二度三一分敵小列機三機北西ニ進ム	機密第六〇四番電
海面防備部隊指揮官、伊勢湾支隊指揮官、十三聯隊司令官、各名在各車令部長一武東聯隊長	海面防備部隊指揮官、伊勢湾支隊指揮官、十三聯隊司令官、各名在各車令部長一武東聯隊長	・	・	・	・	・	・
九日一六五〇 横鎮參謀長	九日一六五〇 横鎮參謀長	・	・	・	・	・	・

九日二三三〇頃	大王崎及神島附近ニテ敵潛ノ攻撃 ヲ受ケタル船アリ嚴重警戒ヲ要ス	三本九日一般船舶ノ浦賀水道夜間航行ヲ禁止ス	四本九日夜洲ノ崎、劍崎、風早崎、城ヶ島各燈標ハ 消燈セリ
九日二三三五	横鐵參謀長	五艦隊參謀長	五各艦隻間危險海面通航中ハ大角度不規則ナル之字 運動ヲ勵行スベシ
九日〇七〇〇	各鐵、各艦參謀長、第一海上護衛隊參謀長、第二海上護衛隊指揮官	横鐵機密第六〇九番電 コト判明セリ	横鐵機密第六〇九番電 大本營通商保護情報第三七號
五月七日	大本營通商保護情報第三七號	一、五月四日一七三〇時巡命城丸ハ「オロール」島ノ 北東方四〇浬ニ於テ敵潛水艦ノ雷擊ヲ受ケ沈没セ リ乗組員ノ一部ハ北開丸ニテ救助ス	四〇三〇〇噸被護衛中ノ陸軍輸送船大元丸（五六 六〇噸）ハ北緯二八度四〇分東經一二四度〇分 ニ於テ敵潛水艦ノ雷擊ヲ受ケ沈没セルモノノ如

九 日	〇八一五	九 日	一〇一〇	三、五月四日一〇一七特巡業田丸ハ洲ノ瑞賀島ノ三二 〇度五八〇〇米ニ海賊ヲ發見シ砲撃壓セリ
先 遣 部 隊 機 指 揮 官	（海面防備課監官）	九 日	一〇一〇	ルモ被寄ナシ
九 日	〇九四五	九 日	一一二〇	海面防備部隊機密第一二九番電
通		（横濱參謀長）		一、第一掃蕩攻撃隊ハ現配備ニテ掃蕩攻撃ヲ續行セヨ 二、掃海部隊ハ豫定ノ掃海ヲナセ 三、關ハ準備出來次第浦賀ニ來レ
九 日	一一三〇	四 艦 機 密 第 四 〇 九 番 電		
南洋部隊各司令官		（横濱長官）		
（横濱長官）		南洋部隊電令作第一七五號		
九 日	一一三〇	翔鶴ハ夕暮、煙（駆逐艦ハ要スレバ）ニ於テ補給		
先 遣 部 隊 機 指 揮 官		護衛ノ下ニ横須賀ニ回航スベシ		
九 日	一二三〇	先遣部隊機密第一九番電		
（横濱長官）		翔鶴ハ夕暮、煙（駆逐艦ハ要スレバ）ニ於テ補給		
（横濱長官）		護衛ノ下ニ横須賀ニ回航スベシ		
九 日	一二三一	先遣部隊電令作第六一號電令作第五七號ニ依ル特機 解ク		
（横濱長官）		先遣部隊電令作第六一號電令作第五七號ニ依ル特機 解ク		

0960

九日一〇三〇	九日一三二五	一潛戰機等第一二二番電
一潛戰司令官	六艦隊長官	伊號第二五潛水艦輪備工事完了ス
基地航空部隊指揮官	(聯合艦隊司令長官) (樺風長官)	
九日一八〇〇	基地航空部隊機密第六五六番電	
	基地航空部隊戰闘概報第四號(自五月三日至五月七日)	
	一、二〇作戰	
(1)三日R X B攻略後飛行艇ノ一部之ヲ轉進		
(2)四日第五航空戰隊前程索敵ノ爲R X B所在飛行艇全機發進後敵機動部隊艦上機隊同地ニ來攻セ		
(3)五日夜暗ヨリ飛行艇全力及陸攻ノ一部ヲ以テ敵機動部隊ノ索敵ヲ實施スルト共ニ攻撃ニ備ヘシセ敵所在ノ第幾モ大ナルR X B南東方面天候不良ニシテ敵ヲ發見スルニ至ラズ		
(4)六日引續索敵ヲ實施(八一〇機報ノ如ク敵ヲ發見直ニ次直機ヲ發進觸接セシメタルモ一二〇〇之ヲ失セリ)		
(5)七日ニ於ケル戰闘概要ハ基地航空部隊機密第六三二番電既報ノ通		
因此ノ間攻略船團上空哨戒ヲ實施セル外陸攻及戰		

1960

九日一六〇〇	九日一九〇五	六空襲機密第一六八番電	海軍

一、戦果
敵艦攻撃既報ノ通報艦セルモノ戰闘機八機ニ數機、不明機二機、不確實ナルモノ戰闘機四機、炎上セルモノ大型機二機、上擊破セルモノ大型機二機、自燃陸攻二、未燃還陸攻二、飛行艇二、機材大破及炎上陸攻三

二、P.X方面作戦

(1) 敵潜水艦ノ動静並ニ通信情報ニ従ミ敵航空部隊策動ノ算大ナリト認メ六日以後第一哨戒配備ヲ發動ス

(2) 六日伊號第八潜水艦誤爆ヲ惹起セルハ申譯ナシ
今後一層慎重ヲ期ス

兵別ニ沈没前後六日間丸敵發見ノ報ニ依リ又聯合艦隊電令作第一三六號及同一三八號ニ基キ第六空襲部隊指揮官ハ一時「空襲艦隊派遣飛行機ヲ併セ指揮シ警戒ヲ嚴ニセルモノ特ニ異狀ナシ

三、実施セリ

		六 空 機 部 指 指 官 隊
		五 空 機 隊 指 指 官 隊
九 日 一 七 二〇	九 日 二 〇 五 五	七 機 ナ 以 テ 木更津 ノ 五五度間 ナ 索敵進出 艇隊 北方 リ 一乃至四番三〇〇 潤五番二〇〇 四澤六番三二〇 潤七 番三三潤一一一 度一九四潤ニ 於テ 敵ラシキ 浮上潜水 艦 一隻 ナ 発見セシモ 直ニ 潜没見失其ノ 他敵ナ見ズ
五 艦 隊 參 謀 長		五 艦 隊 機 密 第 四 九 五 番 電 機密第六〇四番電返心當ナシ

海軍

白金納

£960

時報		時	受	元日	時
別種無氣		種別	報	時	令達報告等
十日	二二〇〇	一	櫛鎮	十日	精鋌機密第六一八番電
九日	一四三〇	九	大晦參二部長	九日	精鋌通商保護情報第四五號
十日	〇一四〇	十	櫛鎮、吳鎮、佐 領、聯合艦隊、各參謀長官	十日	一、本日櫛須舊營備海面異狀ナキモ尙警戒ヲ要ス 二、十日夜御藏島西方ニ味方潛水艦一隻行動ス注意
各船長	〇六〇〇	各	大晦機密第四三五番電	三、本十日ヨリ洲ノ瑞劍瑞風早瑞城ケ島各艦臺ヲ點燃 セリ	右ノ各船ハ所定ノ任務終了次第櫛須舊ニ歸投セシム ル様取計ハレ度
各船長	一九〇〇	各	吾襄丸、北陸丸、明陽丸、鰐島丸、鹿野丸、第二號 東亞丸（以上第十一、十二設營隊用）及南海丸（陣 軍用）ヲ五月十日以後當分ノ間第二艦隊長官ノ指揮 ヲ受ケシメラル	右ノ各船ハ所定ノ任務終了次第櫛須舊ニ歸投セシム ル様取計ハレ度	一、本邦南岸東支那海方面敵潛水艦跳梁シアリ同方面 航行中ノ船舶ハ警間大角度ニシテ時隔不同不規

則ナル之字運動ヲ實施スベシ

夜間視界良好ナル場合モ右ニ準ズ

三、危險海面ニ於テハ保安上已人ヲ得サル場合ノ外敵
軍ナル炮火非常管制ヲ實施スベシ
三、嚴重ナル對潛見警ヲ行フト共ニ夜間追蹤シ來ル敵
潛水艦ニ對シ後方見張ヲ怠ラザルヲ要ス

十日〇七八四〇

指第六空襲部隊
指官隊

第六空襲部隊機密第一七一番電

當除信電令作第一八編中ノ小型機三機ヲ發見ノ報ハ
其ノ後調査ノ結果吳鎮教練通信文ナルコト判明セル
モ豫定ノ索敵ト敵潛水艦制壓ヲ續行中

十日一二〇〇

横鎮、吳鎮、聯
合艦隊、吳鎮、十一
各艦長、五艦航
隊各長官、北方航
隊司令官部隊

電

十日〇八五〇

指海面防備部隊
指官隊

海面防備部隊機密第一四七番電
沖風ハ城ヶ島、沖ノ山間頗ハ沖ノ山、布良間ヲ不規
則ニ行動哨戒セヨ

電

十日〇八三〇

指海面防備部隊
指官隊

第一掃蕩攻撃隊
(橫鎮參謀長)

海面防備部隊機密第一四六番電
第二十三、第二十四號潛艇ハ哨區ヲ撤シ潜須賀(又
ハ浦賀)ニテ樓閣整備(検査手入)ナセ

十六日ヨリ二十日迄浦賀ニ入港ノ敵定

十日〇八〇〇

十日一二三五

海面防備部隊機密第四二七番電

海軍

9960

			十日一六三〇	十一日二一四〇	六空襲部隊機密第一七四番電 豫定ノ索敵實施異狀ナシ視界概未良第二南洋丸所報 ノ飛行艇一機ハ當隊索敵機ナルヤモ知レズ但シ同地 點通過時頃ハ一一五頃ナリ當分當部隊情電令作第 一五號ノ索敵ヲ續行ス
十日一五〇〇	十一日二二三〇	(海軍参考書)	敵ハ少クモ潛水艦二隻以上ヲ以テ我ガ哨戒線ヲ攪亂 シツツアリ(尙飛行艇協同セル疑アリ) 速ニ艦逐艦ヲ以テ之ヲ捕捉駆滅スルノ要アリト認ム	敵艦隊指揮官 北方部隊指揮官 北洋艦隊各長官、 南北艦隊各長官、 丸艦長官	第十 第六空襲部隊 指揮官 第十 艦隊、聯合艦隊 第十 航空艦隊、 第十 北洋艦隊各長官、 第十 二海部隊各長官、 第十 南洋艦隊各長官、 第十 丸艦長官
海軍					

發 元日	時 受 列(通) 報 時	令 達 報 告 等	種 別
十一日 一三〇〇	十二日 一三〇〇	横 櫛 艦 參 謀 長	無
十一日 二一〇〇	十三日 一三〇〇	横 防 戰 司 令 官 伊 勢 灣 防 備 支 援 官 指 揮 官	橫 櫛 機 密 第六 二 一 番 電 十二日 一 三 〇 〇 横 防 戰 司 令 官 伊 勢 灣 防 備 支 援 官 指 揮 官
十一日 一一〇〇	十一日 一五二〇	一 般	橫 櫛 機 密 第六 二 三 番 電 十一日 未 明 清 水 發 一 七 〇 〇 頭 御 前 輪 通 過 瀨 松 ニ 寄 港 ノ 上 的 矢 ニ 向 フ 警 戒 ニ 關 シ 然 ル 可 ク 配 電 廻 サ レ 度 行 動 ス
十一日 一一〇〇	十一日 一五二〇	伊 勢 灣 防 備 支 援 官 指 揮 官	橫 櫛 機 密 第六 二 三 番 電 十一日 未 明 清 水 發 一 七 〇 〇 頭 御 前 輪 通 過 瀨 松 ニ 寄 港 ノ 上 的 矢 ニ 向 フ 警 戒 ニ 關 シ 然 ル 可 ク 配 電 廻 サ レ 度 行 動 ス

十一日 一六〇〇	十一日 一七一〇	十一日 一七一〇	十一日 一七一〇	十一日 一七一〇	十一日 一六〇〇
大海參一部長	海面防備艦隊官	東京灣防備部隊	横濱防備部隊	全般防戰出動部隊	各鎮、各營參謀
指揮官	指揮官	長官	長官	長官	長官
十一日 一六〇〇	十一日 二二一〇	十一日 二二一〇	十一日 二二一〇	十一日 二二一〇	十一日 一六〇〇
大海參一部長	第一海陸上護衛團長	第一海陸上護衛團長	第一海陸上護衛團長	第一海陸上護衛團長	第一海陸上護衛團長
指揮官	指揮官	指揮官	指揮官	指揮官	指揮官
三、前情報第三八號第一項河南丸ノ被撃ナシトアル テ沈没ニ同第二項同テ撫順丸ハ雷轟ヲ受ケタルモ被撃ナシ 甚シク九日一五三五之ヲ放棄セリニ夫々訂正ス	大本營通商保護情報第三九號	一、五月九日一三一〇西寧丸ハ犬吠埼燈臺ノ南西九 浬ニ於テ敵潛水艦ノ雷轟ヲ受ケタルモ被撃ナシ テ敵潛水艦約三隻我ガ哨戒艇四艘轟ヒリ	二、十日午後大吠崎ノ東方約六〇〇浬附近各所ニ於 テ敵潛水艦約三隻我ガ哨戒艇四艘轟ヒリ	三、笠置丸ハ一二〇〇浦賀發第五、第六哨區ヲ哨戒 ニ移行ス	三、名古屋在泊 德島丸 丸 四哨區 第二金剛丸、第一、第三鷦鷯丸、地久丸 第二號日本丸、和風丸、大功丸

6960

支那海軍名簿

(新倉誌)

十二日 指揮官 海面防備部 自隊	一一〇〇	十一日 大海特務班長	一二〇〇
十二日 東京灣防備部 出動部 全船	一一一五	十二日 各艦、各輪、各 艦隊各參謀長	〇八〇〇
十二日 海面防備部 機密第 聯合艦隊 飛行機 二機	海面防備部 機密第一六二番號	大海特務班 機密第四五四番號	電

三、(1) 五月九日午後捕獲網船經丸ハ洲ノ塔燈臺ノ一〇度六〇〇米ニ於テ潛望鏡ヲ發見セリ

(2) 一七八陸軍運賃船加賀丸ハ北緯一二度一八分東經一一一度一七分ニ於テ雷轟ヲ受ケタルモ被害ナキ模様

(3) 一九三五被護衛中ノ陸軍配當船大洋丸(一四四五七噸)ハ北緯三〇度四五分東經一二七度〇分ニ於テ雷轟ヲ受ケ火災後沈没セリ

四、(1) 通信諜報ニ依レバ五月七日米海軍長官ハ米海軍一般宛左ノ電ヲ發信セリ

聯合艦隊長會議ノ決議ヲ見ル米國陸軍飛行機ノ標識ヨリ赤色圓サ除ク又尾翼ヨリ赤色竝ニ白色横線ヲ除ク構成全米陸軍機一般ニ適用スルコトトナレ

海軍

			(掃蕩參謀長) 脇、猿島ハ直ニ掃蕩攻撃ナナセ
十二日	〇九一五	十二日	一三一〇
伊勢灣防備支隊長		伊勢灣防備支隊長	海面防備部隊機密第一六一一番電
安州丸	十二日	一三五〇	一、沖風ハ明十三日一〇〇〇横須賀對潛掃蕩ヲ實施 シツツ伊勢灣ニ回航伊勢灣防備支隊長ノ指揮ヲ承 ケ同方面ノ作戦ニ從事スベシ
北面部隊	十二日	一四三〇	二、十三日一二〇〇澤風ニ對スル伊勢灣防備支隊長ノ 作戦指揮ヲ終ク澤風ハ十三日午後伊勢灣發掃蕩シ ツツ横須賀ニ回航スベシ
敵潛水艦見ユ	十二日	一七〇三	三、的矢在泊 大功丸 三哨區 澤風、新東北丸、東郷丸、第一鶴丸、第二鶴丸 三鶴丸、和美丸、地久丸、徳島丸 東經一四五度三一分北緯三五度二〇分
			（新令統）

海軍

				安州丸 東經一四五度二〇分北緯三四度四九分
十二日 一七二〇	十二日 一八三〇	十二日 一九二五	十二日 一九一八番電	我右舷三〇度二〇〇〇米ニ敵潛艦錨ヲ認メ直ニ轉舵無 第三監視艇隊司令 橫領長官、北方 船部隊指揮官、哨
海軍大臣	第六空襲部隊	第六空襲部隊機密第一八一番電	十一日十二日豫定ノ索敵警施ス進出距離十二日一番 六〇〇浬ノ外七〇〇浬索敵海面概オ視界良好ナリ敵 之ニ向ヒ機雷攻撃ヲナセリ	横領長官、北方 五艦隊各長官、 北方部隊各 司令官
十一日 一〇五〇	十二日 一九四五	十二日 二二二〇	十一日十二日豫定ノ索敵警施ス進出距離十二日一番 六〇〇浬ノ外七〇〇浬索敵海面概オ視界良好ナリ敵 之ニ向ヒ機雷攻撃ヲナセリ	第二監視艇隊司令 各編、各艦、各 艦隊長官
各編、各艦、各 艦隊長官	横領長官、北方 部隊指揮官、哨	官房機密第八十七番電	十一日附特設監視艇隊編制中左ノ通改定セラル 第一監視艇隊ノ項中ニ新勢丸、三重丸、第一福徳丸 第二號樅荷丸、第三盛進丸、第三明神丸、第五盛源 丸、第十二明神丸ヲ加フ	第二監視艇隊ノ項中ニ長久丸、第二十一南淮丸、第三 監視艇隊ノ項中ニ長久丸、第二十一南淮丸、第三

0974

二十三日	栗丸	判ル
二十四日	威勇丸、海晴丸、工進丸、第三號福吉丸、第二號金比羅丸、第三大戎丸、第三號大笑代丸、第三、五十鎰丸、八十九號領丸、第十一光榮丸追加	
二十五日	第三號觀鷺隊ノ瑞中第一岩手丸、長濱丸	判ル
二十六日	月浦丸、第一日進丸、第三共和丸、第三萬喜丸、第三愛宕丸、第七號正榮丸、越納島丸追加	
二十七日	敵潛水艦見ニ 東經一四八度四五分北緯三五度一分	
二十八日	北方部隊	
二十九日	(機雷接戦)	
三十日	南進丸船長	
三十一日	一八〇〇	
三十二日	一一四五	
三十三日	無	

(新舊約)

		發元日	時	受宛(通報)	時	令達報告等
艦 領	十三日 一〇三〇	横 領 參謀長	日 暮 丸 監 督 官	十三日〇八五七時子元歸ノ七〇度十二津ニ於テ敵 淺 閣 丸 船 長 官	一時	無
一 般	十三日 一六二〇	武 官 各 種 在勤 者	東 京 、 清 水 、 名 駆 逐 艦 艇	十三日〇八五七時子元歸ノ七〇度十二津ニ於テ敵 淺 閣 丸 船 長 官	一時	無
横 領 機 密	十三日 二一〇〇	横 領 機 密 第 四 六 一 番 電	本 一 三 日 一 五 三 〇	對 島 崎 ノ 一 〇 〇 度 二 三 津 ニ 潛 襲 本 一 三 日 一 五 三 〇	十三日〇八五七時子元歸ノ七〇度十二津ニ於テ敵 淺 閣 丸 船 長 官	無
海 軍						(新 合 體)

9460

				右改裝工事ノ爲矢風本日吳二回航
十三日	○五〇〇	十三日	○八二〇	二艦觀機船第二〇七番電
司 第一 艦 觀 艦 令				哨戒部隊指揮官
				實体ヲ發見右魚雷ハ右舷側約五米十 船尾ニ附着セ
				ルヲ確認攻撃ニ転ゼリ
				以後之字連動ニテ南下中一七〇三右三〇度一五〇
				〇米ニ直角ニ東航スル敵潛艇認メ其ノ潛没水
				面ニ機雷攻撃ヲ加ヘタリ
				三三三南魚丸ノ報告ト本艦周囲ノ情況ヨリ判ズルニ
				敵潛水艦ハ附近海面ニ少クトモ四隻生存セルモノ
				ト認ム
十二日	○九五五	十三日	○九二五	神子元局熾盛ノ七十度一二津ニ於テ味方商船一隻雷
第一掃蕩攻撃隊	指揮官(浮島)	海面防備部隊	指揮官	撃ヲ受ケ沈没ス 我攻撃ニ轉ズ
十三日	○九〇〇	十三日	○九四二	長津呂機密第一九番電
長 津 呂	横 綱	横 綱	(横綱長官)	〇八五〇大嵐西方面商船一隻雷撃サル沈没ス
十三日	一二二〇	十三日	一二〇〇	捕虜部隊指揮官ハ頭ニ捕虜經一隻ヲ駆逐沖ニ配シ附
海面防備部隊	指揮官	防備戰隊出動部隊	指揮官	近ノ掃蕩攻撃ヲナセ
十三日	一二二〇	十三日	一二〇〇	無

		(槍銃參謀)	
十三日	一一〇〇	十三日	一四〇五
赤城艦長		赤城機密第八六番電	
		本艦本日出渠役務ニ芦支ナシ	
		大旗、軍令部總長官	
		長一空艦隊長官	
十三日	〇九三〇	十三日	一四一〇
海軍大臣		〇八五〇、三原山ノ西七津ニ於テ本艦ノ前方一〇〇 海面防備部隊	
		〇米南七〇度西ニ向ケ駆走スル雷跡二本（目標浮島 指揮官（指揮官） 第一掃蕩攻撃隊（浮島））	
		ト認ム）ヲ發見〇八五六雷跡ノ起點（三原山ノ二五 （三原山ノ二五 近ヲ搜索スルモ手掛ナシ	
十三日	〇八〇〇	十三日	一六四〇
各艦、支那方面		官房機密第八八五番電	
（六、三、南遣艦隊 大艦、馬公、海 南艦隊府長官）		本月九日 天皇陛下 御恩召ニ依リ 海軍病院入院中 ノ戰傷病者ニ對シ食糧品ヲ御下賜被付在泊ニ恐懼感 激ノ至リニ堪ヘズ 右譯ミテ傳達ス	
十三日	一五二〇	十三日	一八〇〇
七根參謀	（ 槍銃參謀 ）	七根機密第一一一番電 貴隊双発戰闘機一機（七號機）一五〇〇當地不時着 機体發動機異狀ナシ	
十三日	一三〇〇	十三日	二二五〇
哨戒部隊指揮官		哨戒部隊機密第四五四番電 北方部隊指揮官 哨戒部隊戰闘機報第三號（五月十二日）	

海軍

一、一二二五安州丸ハ北緯三五度二〇分東經一四五度三二分ニ於テ潛艇五米ヲ反航通過スル魚雷ヲ認ム直ニ攻撃ニ轉シ使用爆雷四個効果不明ナリ爾後之字運動ヲ以テ南下中ノ處一七〇三北緯三四度四九分東經一四五度二〇分ニ於テ右三〇度一五〇〇米

二、東航スル敵潛望鏡ヲ發見爆雷攻撃ヲ行ヒ使用爆雷四個効果稍確實ナリ

三、第二哨戒隊第三三南進丸ハ哨戒ヨリ横須賀ニ歸投ノ途次一七五五北緯三五度一分東經一四八度四五分ニ於テ浮上セントスル敵潛水艦ヲ發見之ニ向ヒ約三〇〇米ノ距離迄接近セシモ敵ハ再び潜航北方ニ遁走右ニ繕イテ駆逐艦視シリシ處六〇度方向ニ敵浮上潛水艦二隻ヲ發見之ニ觸接セシモ暗夜ニテ抵速力ノタメ一九五〇遂ニ之ヲ見失ヘリ

此ノ間一回敵ノ攻撃ヲ受ケシモ被害ナシ

判斷並ニ所見

一、今回發見セル敵ハ本邦沿岸奇襲ノ目的ヲ以テ西行中ノ潛水艦ニシテ約四隻アリシモノト認ム
二、哨戒部隊戰闘概報第二號ニ依ル駆逐艦ノ對潛兵器搭載ハ速ニ實施ノ要アリト認ム

0860

十三日 一九〇〇

十三日 二一五五

東港空殘指揮官
（東港支隊長（機
空）濱空殘指揮
官、横佐、佐各空
港各空司令、艦隊
參謀長五東）

東港空殘機密第八〇八番電
東空機密第二一五番電ニ依ル第二次移動（大艇三

機）ヲ左ノ通改ム

十四日 ○七三〇東港發一四三〇佐空着
十五日 ○九〇〇佐空發一四〇〇濱空着

（機械參謀長）

（新食納）

海軍

發 元 日	時	受 宛 (通 報 時)	令 達 報 告 等
十四日 横 鎮 長 官		機 密 橫 鎮 守 府 命 令 作 第 八 九 號	
		機 密 橫 鎮 守 府 命 令 作 第 七 八 號 中 改 正 ノ 件	
		(別紙添)	
二、明十五日 一 味方潛水艦行動ス 三、明十五日 二 横鎮信電令作第四六號 一、秋津洲、久志丸、第一、第二號哨戒艇明十五日 日一二三〇第二海堡假泊地發東水道通過サイバン 方面ニ向ア速力十六節 去、海面防備部隊指揮官ハ前路警戒ニ任ズベシ 三、館空司令ハ適宜對潛直衛ヲ實施スベシ	文 書 館	機 密 橫 鎮 守 府 命 令 作 第 九 〇 號	別種 文
機密橫鎮命令作第九〇號 橫須賀鎮守府命令	文 書 館	機 密 橫 鎮 守 府 命 令 作 第 九 〇 號	別種 文
橫須賀軍警備隊司令官ハ敵飛行機ノ來襲アリタル 場合小原臺及小柴ニ於テ左ノ觀測情報ヲ實施スベシ	文 書 館	機 密 橫 鎮 守 府 命 令 作 第 九 〇 號	別種 文

海
軍

			十三日	一七二〇	十四日	〇一二五	六空司令	夜間	赤色流星	黒龍	一 個
			十三日	二〇一〇	十四日	〇一四五	十六空機密第一八三番電	無			
			十三日	二〇一〇	十四日	〇一二〇	本十三日索敵機七機一〇〇〇發進洋上天候不良爲 長官、北方部隊各指揮官、十一空艦隊、十一空聯合	無			
			十三日	二〇一〇	十四日	〇一二〇	防備戰隊第一二五番電ニ依ル野島沖掃海艇二八今夜 丸所報ノ國籍不明タルハ熟レモ當陰索敵機ト認ム	無			
			十三日	二〇一〇	十四日	〇一二〇	防備戰隊第一二五番電ニ依ル野島沖掃海艇二八今夜 館山ニ暫泊明日一〇〇〇迄ニ配備ニ就ケ	無			
			十三日	二〇一〇	十四日	〇一二〇	大本營通商保護情報第四〇號	無			
			十三日	二〇一〇	十四日	〇一二〇	一、十二日一三〇〇特砲安州丸ハ犬吠埼ノ九五度三四 〇浬及一七〇三同神ノ一〇七度二三四浬ニ於テ敵 潛水艦ヲ認メタリ	無			
			十三日	二〇一〇	十四日	〇一二〇	①〇八五三汽船昭南丸（軍捕船五五六噸）ハ神 子元島ノ七十度一二浬ニ於テ敵潛水艦ノ雷擊ヲ 受ケ沈没セリ	無			
			十三日	二〇一〇	十四日	〇一二〇	回午前野島崎ノ南南東約一八浬ニ於テ潛望鏡ヲ發	無			

十三日	一九二〇	十四日	〇二三五
海軍次官	指揮官	横鎗長官、南西方面艦隊、一、三各南遣艦隊、馬橋官	見セル船アリ、龍空飛行機ハ野島崎ノ一〇〇度ニ三澤ニ潜望鏡ヲ繕テ潜没潜水艦ヲ確認セリ
十三日	一九二〇	十四日	〇二三〇
第一掃蕩攻撃隊官	指揮官	(横鎗參謀長) 海面防備部隊	長崎丸(五二六八噸)ハ一二三〇長崎港西方海面ニ於テ潜望鏡ラシキモノ發見セリ尙同船ハ伊王島北方四糸ニ於テ一二四五味方機雷ニ觸雷沈没セリ
十三日	一九二〇	十四日	〇二三〇
官房機密第八九三番電	各部ノ御厚意ニ依リ所期ノ目的ヲ達成リ驗本日無事	官房機密第五五番電	各部ノ御厚意ニ依リ所期ノ目的ヲ達成リ驗本日無事
第一掃攻隊及艦戦闘概報第一號	蹴着、殿下御機嫌躊躇シク御歸還アラセラル高厚配ナ	一掃攻撃機密第一號	蹴着、殿下御機嫌躊躇シク御歸還アラセラル高厚配ナ
一、汽船遭難狀況	深謝ス	浮島、第二二號驅潛艇、駆ノ以テ掃蕩列、單構陣間隔三杆)ヲ張リ大島島西方海面針路一八〇度ニテ南下中〇八四五、三原山ノ二六〇度九六津ニ於テ浮島ノ右二七度九糸ニ日本商船敵雷擊受ケ〇八四九沈没スルヲ目撃セリ	浮島、第二二號驅潛艇、駆ノ以テ掃蕩列、單構陣間隔三杆)ヲ張リ大島島西方海面針路一八〇度ニテ南下中〇八四五、三原山ノ二六〇度九六津ニ於テ浮島ノ右二七度九糸ニ日本商船敵雷擊受ケ〇八四九沈没スルヲ目撃セリ
二、各艦ナシテ直ニ増速シ攻撃ニ轉セシム			
先づ雷跡ヲ基準トシ浮島ハ西側ヨリ第二二号雷			

十三日	二〇〇〇	十四日	〇三二五
海軍大臣	檍鍋、吳綱、官大 醫各長		

及於八東側數次ニ互リ投射ヲ實施セシメ附近一帶
ヲ制壓シタル後乘組員生存者四八名ヲ浮島ニ揚收
之ト並行ニ願及第二ニ號艦潛艇ヲシテ掃蕩ヲ續行
セシメ一〇三〇ニ至ル一〇五五萬千穂丸來着セル
ヲ以テ追跡點附近一帶ノ對潛掃蕩ヲ南方ニ擴大浮
島及第二ニ號艦潛艇（先行セシム）ヲ以テ利島東方
海面ヲ願ヲ以テ利島ノ西方海面掃蕩中

三、船長ノ言ニ依レバ雷轟時昭南丸（一五三五六噸）ノ
位置神子元島燈籠ノ七一度一二浬、針路四五度
速力九、五節ニシテ船長自身雷跡一本ヲ船橋ノ右
正橋確認セリ

官房機密第八九四番電
部下關係各部ヲシテ左ノ工事ヲ施行セシムベシ
一、吳綱長官ハ成ルベク速ニ魚雷防禦網四艦分（必要
ナル關係裝置一切）ヲ大湊ニ送付セシムベシ
二、檍鍋長官ハ右命令ニ依ル防禦網ヲ大湊ニ於テ第一
號艦長官所定ノ艦ニ裝備セシムベシ之ガ完成期ヲ
六月中旬トス裝備ニ對シテハ第一號艦長官ト協調
スルモノトス

三、吳綱長官及大湊要港部司令官ハ右工事實施ニ關シ
電 無

海軍

（新立社）

				横 鎮 長 官	官房機密第八八九番電 備五十四個ノ發射準備ニ協力セシムベシ
十三日	一八四〇	十四日	〇六二〇		
				横 鎮 長 官	機須御前軍工廠ヲシテ第八潜水隊各艦用九五式魚雷
					電
十三日	二〇五〇	十四日	〇八二五	北方部隊指揮官	敵潛水艦一隻見ニ二〇四〇野島砲臺ノ一二〇度
				哨戒部隊指揮官	約五浬ニテ潜航ス
				(横鎮參謀長)	
十四日	第一掃蕩攻撃隊	十四日	〇八二五	昨日日没後ヨリ第一掃攻隊ノ二隻及聯ナ以テ掃蕩	
	指 挥 官			海面防備部隊指揮官	昨日日没後ヨリ第一掃攻隊ノ二隻及聯ナ以テ掃蕩
				列ナ張リ大島神子間及(三原山)ヲ中心トスル關	昨日日没後ヨリ第一掃攻隊ノ二隻及聯ナ以テ掃蕩
				内十浬ヲ掃蕩セシモ未ダ敵ヲ捕捉セズ引繼キ臘、	昨日日没後ヨリ第一掃攻隊ノ二隻及聯ナ以テ掃蕩
				猿島ナシテ反覆掃蕩中	昨日日没後ヨリ第一掃攻隊ノ二隻及聯ナ以テ掃蕩
十三日	二〇五〇	十四日	〇九〇〇	艦本機密第六五一番電	
				艦政本部長	第四艦遂隊各艦ニ對シ成ルベク速ニ砲戦及魚雷戦
				構 工 軍 長	ノ豫備通信裝置トシテ移動傳聲管一本ヲ試験的ニ
				(横鎮參謀長)	裝備スベシ長サハ艦橋ヨリ三番砲塔ニ據スルモノ
					トシ各聯管ニ岐管ヲ設クルモノトス
					尙艦内工作ニテ現裝中ノ竹筒製移動傳聲管ハ撤去
					スルモノトス

十三日	一六五〇	十四日	一〇一二
軍務局長	各船、各艦參謀	各船、各艦參謀	軍務小密第六九二番電
指揮官	參謀長	參謀長	既成潛水艦中伊號五二潛水艦伊號第五三潛水艦伊號六三潛水艦加伊號六五潛水艦型及伊號六八潛水艦各潛水艦ハ昭和十七年五月二十日附夫々其ノ艦數字ノ上ニ百キ冠シタル後字名ノ艦名ニ改メラルル豫定
海面防備部隊	第一掃蕩攻撃隊	海面防備部隊機密第一七三番電	
指揮官	左ニ依リ護衛（警戒）ナセ	本日艦船出港ノ除澤風、臘、楓島ハ濱田附近ヨリ北行澤風野島沖附近迄	
丸駒橋艦長、興島長	西行艦	南洋行猿島大島西方海面迄	
(横領參謀長)		三、澤風ハ右任務終了後館山ニナ補給セ	
十四日	一七三〇	十四日	一八五〇
六空襲部隊指揮官	横領鎮長官	六空襲機密第一八八番電	本日豫定ノ索敵ヲ實施セルモ洋上天候不良ノ爲有効索敵距離概オ二〇〇浬
指揮官	合艦隊長官		
海面防備部隊	空襲隊長官、北方艦隊各指揮官		
指揮官			
十四日	一九一〇	十四日	二二五〇
海面防備部隊	海面防備部隊機密第一七四番電		一、本日ノ南洋行取止ム猿島ハ適宜駒ハ現任務終了後
指揮官			
長、防戰、獵鳥艇			
動部隊			

(新會誌)

			陸一一番 館山ニ警戒碇泊セ日
十四日 一六四〇	十四日 二二〇〇	佐 鎮 長 官	(横領參謀長) 三防備戰機密第一一五番電 (野島沖掃蕩ノ件) 掃
		總 長、大 旗	海部隊ノ任務ヲ解ク
		(横領長官)	
		大洋丸被爆擊ニ際シ佐防駆逐艦ヲ以テ附近海面ノ 對掃蕩中平島、鷹島ハ東經一二七度四五分北緯三 〇度五〇分ニ於テ九日一九〇〇、二〇時〇五、二 二五五、〇〇五五敵潛水艦ヲ探知夫々艦雷攻撃ヲ ナシ特ニ二〇〇五、〇〇五五ノ攻撃ハ有効ナリシ 攻撃狀況並ニ爾後極力探知ニ努メタルモ探知絶ヘ タル情況ヨリ判斷一隻ハ概オ撃沈セシモノト認ム	
十四日 二二〇〇	十四日 二二一〇	聯合艦隊參謀長	佐軍機密第七三七番電 戰艦概報第三報
聯合艦隊參謀長	第四艦隊參謀長	(各艦參謀長)	
		對潛攻擊ニ關スル既往ノ經驗左ノ通り	
		一、爆雷攻撃ハ敵潛水艦ヲ畏怖セシモアルモ相當多 數ノ爆雷ヲ投下セザレバ致命的効果ヲ期シ得キ 場合多シ	
		二、敵潛水艦ノ潛没位置ヲ捕捉セル場合數日間耗 連繩執拗ニ監視ヲ續行セバ其ノ實体捕捉撃沈ノ能	

八
卷
之

大ナリ特ニ畫面艦艇ヲ統制使用敵潛水艦ノ浮上海
面ヲ掃蕩スルハ効果アリ
三、爆雷攻撃ノ損傷ノ状況ハ炸薬ノ成分ニ起因スル若
干ノ油微アリ驟沈確實ナル場合ハ右油微ト異ナル
極メテ多量ノ重油連續浮出スルト共ニ猛烈ナル勢
ヲ以テ氣泡ヲ噴出ス

十四日 二六〇〇 呂
十四日 二三三〇 吳鎮、佐鋼各長

四艦隊各長官
（樺鋼長官） 佐
用
鋼長官ハ立神ヲシテ爲シ得ル限リ五月二十七日迄
ニ吳ニ回航セシムベシ

電無

海軍

發 元 日	時 間	受 知 (通 報)	令 達	報 告	種 別
十五日 一八〇〇	海面防備部隊指揮官、十三聯空司令官、各司令官、各船長	横鎮機密第六五二番電 赤城丸及四驅ハ明十六日〇九〇〇瀬戸内海西部ニ向ケ横須賀發ノ豫定	横鎮機密第六五二番電 赤城丸及四驅ハ明十六日〇九〇〇瀬戸内海西部ニ向ケ横須賀發ノ豫定	警戒ハ自除ニテ行フ爲念	無
十五日 二一〇〇	一 般	(伊勢湾防備支隊指揮官)	横鎮機密第六五七番電 横鎮通商保護情報第五〇號	横鎮機密第六五七番電 横鎮通商保護情報第五〇號	無
十五日 二三二〇	一 般	横鎮機密第六五八番電	一、本日横鎮警備海面異狀ナキモ東京灣依然警戒 二、十五日二一〇〇鹿島灘塙摩崎東京海面明十六日一二〇〇ヨリ父島西方海面ニ味方潛水艦行動ス	横鎮機密第六五八番電	無
十五日 二一三〇	一 般	横鎮機密第六五八番電	三、十五日二一〇〇北緯三三度四三分東經一四〇度五二分ニ於テ敵潛水艦ヲ發見ス	横鎮機密第六五八番電	無
昌壽丸 各船長 十五日 二三三〇	一 般	横鎮機密第六五八番電	同地附近ヲ迂回航行セヨ尙燈火漏洩セザル機注意	横鎮機密第六五八番電	無

0660

				十五日 横 鋼 長 官	(七根司令官) 横防戰司令官
				十四日 一五〇〇 大 海 特 務 班 長	機密 橫鋒命令作第九一號 機密 橫鋒命令作第七八號 中別紙ノ通改正ノ件發令 (別紙添) 文書
				十五日 ○一三〇 橫鋒參謀長、聯合艦隊參謀接、聯 二海之上護衛艦長、第	
				十四日 一五〇〇 海 軍 大 佐	大海機密第四八二番電 艦種不詳ノ米艦 G 7 F M (四二三五〇) 一八〇〇 測定位置北緯三一度東經一八〇度 N P M (A I O) ト交信ス
				十五日 ○二五〇 各 鎮、各 艦、各 艦 駐 長 官 各	十二日同方面ニ出現セル X D 八四ト同一艦艇ナルヤ モ知レズ
				官房機密第八九八番電 昭和十七年五月十五日ヨリ海軍暗號書○第二四號及 第二五號ヲ實施第三三號ノ使用ヲ停止第一五號、第 一七號及第一八號ヲ廢止 宛各參謀長 海軍暗號書○ハ第二二號迄全部廢止 第二三號ハ使用停止ナリ	
				十五日 ○〇〇〇 大 海 參 第 三 部 長	大海機密第九〇一番電 十五日附聯滑輪編制中左ノ通改定セラル

海軍

		各長官		第二聯隊及第三十一聯隊各項ヲ削リ 第二十二聯隊各項ヲ加フ	
		第三十二聯隊		第二十二聯隊、第二十三聯隊 潛艇、第二十四號、第二十五號、第二十六號、第二十七號、第二十八號、第二十九號、第三十號	
海軍大臣	大副	十五日	〇〇〇〇	十五日	〇七四〇
大副參一部長	大副	十五日	一〇一〇〇	十五日	〇八二〇
各艦上護衛指揮官、各艦長	第一海上護衛指揮官、第二海上護衛指揮官	十四日	一〇一〇〇	十五日	〇八二〇
大本營通商保護情報第四一號	大本營密第四八一番電	大本營密第四八一番電	無	無	無
一、(1)十三日〇九四八旗風ハ北緯二七度四分東經二三三度三〇分ニ於テ潛望鏡ヲ發見シ爆雷攻撃セルモ効果不明	二、(1)十三日〇九四八旗風ハ北緯二七度四分東經二三三度三〇分ニ於テ敵潛水艦ノ攻撃ヲ受	三、汽船神龍丸ヲ特設運送船（雜用船）トシ横鐵所管ト定メラレタル處之ヲ解カルト定メタル處之ヲ解ク	三、汽船神龍丸ヲ特設運送船（雜用船）トシ横鐵所管ト定メラレタル處之ヲ解カルト定メタル處之ヲ解ク	一、大潮、滿潮、山雲ヲ特別役務駆逐艦ト定ム	一、大潮、滿潮、山雲ヲ特別役務駆逐艦ト定ム

十五日	〇〇〇〇	十五日	〇九四〇	官房機密第九〇〇番電 方二〇浬ニ於テ敵潛水艦一隻ヲ發見セリ	ケタリ	無
海軍大臣		各艦各潛各艦隊 各長官		十五日附驅逐艦編制中左ノ通改定セラル		
指揮官		第五日附逐艦ノ琅中 大潮、滿潮ヲ削ル				
十五日	一四三〇	十五日	一六三〇	第八日逐艦ノ琅中 大潮、滿潮ヲ削ル		
伊勢灣防備支隊 指揮官		横鎮參謀長	指揮官、第一掃攻 隊指揮官	第九日逐艦ノ琅中 山雲ヲ削ル		
十五日	一三四〇	十五日	一七五〇	一四一二洲ノ墻燈臺ノ二八二度一二浬ニ於テ探知爆 雷ヲ投射氣泡溢出ヲ認ム		
伊勢灣防備支隊 指揮官		伊勢灣防備支隊十五日一〇〇〇ノ配備左ノ如シ 、鳥羽在泊初島、第一第三驅丸、德島丸、第二驅 日本丸	（一）檣鋼參謀	尙搜索ヲ續行シツツ一浬掃蕩中		
三哨區	沖風、新東北丸、東郷丸、第二金剛丸 鳴尾丸、和美丸、地久丸、和風丸、大功					

8660

海軍

十五日 二三〇〇 指揮官
第一哨戒部隊
指揮官
十五日 一九四〇 一、哨戒部隊機密第八四番電
北方部隊指揮官
二、風染丸、第十福染丸及監視艇十七隻一二〇〇時
哨戒部隊指揮官
三、配備哨區ヒクニ三七四日ヒクニ三一迄
一横鎮長官
四、向ヶ橋須賀出雲

無電

(第 1 頁)

發 元 日	時	受 宛 (通 報)	令 達 報 告 等
十六日			
横 濱	一 般	横 濱 通 商 保 護 情 報 第 五 一 號	
十五日 一九三〇	十五日 ○〇三〇	横 濱 參 謀 長、 橫 濱 海 面 防 備 部 隊 指 揮 官 (横 濱 參 謀 長)	本 日 橫 濱 管 區 異 狀 ナ キ モ 尙 警 戒 ヲ 要 ス
十五日 一九三〇	十五日 ○一三〇	海 面 防 備 部 隊 指 揮 官 (横 濱 參 謀 長)	軍 務 機 密 第六 六 四 番 電 ニ 依 ル 建設 號 五 日 十 七 日 〇 八 〇 〇 大 阪 發 潮 岬 迄 本 府 警 戒 艦 艇 航 空 機 ヲ 以 テ 警 戒 シ 潮 岬 ニ 於 テ 貴 府 海 面 防 備 部 隊 ニ 引 繼 グ コ ト ト ス
十六日 ○二一〇	十六日 ○四三〇	海 面 防 備 部 隊 指 揮 官 (横 濱 參 謀 長)	海 面 防 備 部 隊 機 密 第 一 八 七 番 電 赤 城 第 四 驅 逐 艦 面 一 六 日 〇 九 〇 〇 横 須 賀 發 西 行 ス 警 戒 ヲ 嚴 ニ セ リ
十六日 ○二一〇		本 艦 前 方 三 十 米 ニ 横 切 ル 雷 跡 ニ 本 見 ル 地 點 勝 浦 燈 臺 ヨ リ 七 八 度 三 一 浬 十 六 日 午 前 零 時 十 四 分	無 別 種
司 第一 監 視 船 隊 令 官 航 戰 司 令 官			

		十五日 一九〇〇 海軍大臣	十六日 〇六〇〇 各艦隊長官	官房機密第九一〇番電 十五日附驅潛艦編成中左ノ油改定セラル 第三ニ驅潛艇ノ瑞トアル第二九號ノヒニ第三〇號 ヲ加フ
十六日 〇八〇〇 指揮官	十六日 〇九一八 海面防備部除	海面防備部除機密第一九二番電 驅潜艇ノ瑞トアル第二九號ノヒニ第三〇號 ヲ加フ		
			十六日 〇八〇〇 海面防備部除 驅潜艇ノ瑞トアル第二九號ノヒニ第三〇號 ヲ加フ	

海

軍

			指揮官	海面防備部隊	駆逐艦	駆逐艦	海面防備部隊機雷艇第一九〇番電	本日ノ西航船團護衛艦澤風ヲ浮島ニ改ハ
十五日	二〇三〇	十六日	一〇三〇	十六日	一〇三〇	十六日	一〇三〇	十六日
海軍大臣		長官	横、佐鎮各司令官	横、佐鎮各司令官	第五神丸船長、第一掃除隊一小隊、伊勢灣方面防支隊指揮官	第五神丸船長、第一掃除隊一小隊、伊勢灣方面防支隊指揮官	第五神丸船長、第一掃除隊一小隊、伊勢灣方面防支隊指揮官	第五神丸船長、第一掃除隊一小隊、伊勢灣方面防支隊指揮官
			(機雷參謀長)					
				官房機密第九一二番電	官房機密第九一二番電	官房機密第九一二番電	官房機密第九一二番電	官房機密第九一二番電
				六、佐鎮長官ハ第二ニ海軍航空廠ナシテ官房機密第一六二番電ニ依リ第三航空隊ニ貸與中ノ左ノ兵器ヲ還納セシメ之ヲ第二海軍航空廠ニ保轉セシムベシ	七六二番電ニ依リ第三航空隊ニ貸與中ノ左ノ兵器ヲ還納セシメ之ヲ第二海軍航空廠ニ保轉セシムベシ	七六二番電ニ依リ第三航空隊ニ貸與中ノ左ノ兵器ヲ還納セシメ之ヲ第二海軍航空廠ニ保轉セシムベシ	七六二番電ニ依リ第三航空隊ニ貸與中ノ左ノ兵器ヲ還納セシメ之ヲ第二海軍航空廠ニ保轉セシムベシ	七六二番電ニ依リ第三航空隊ニ貸與中ノ左ノ兵器ヲ還納セシメ之ヲ第二海軍航空廠ニ保轉セシムベシ
				▲ E-1▲ 發動機二基	▲ E-1▲ 發動機二基	▲ E-1▲ 發動機二基	▲ E-1▲ 發動機二基	▲ E-1▲ 發動機二基
				三、艦長官ハ第二海軍航空廠ナシテ右兵器ヲ第一航空隊司令部ニ當分ノ間貸與セシムベシ	三、艦長官ハ第二海軍航空廠ナシテ右兵器ヲ第一航空隊司令部ニ當分ノ間貸與セシムベシ	三、艦長官ハ第二海軍航空廠ナシテ右兵器ヲ第一航空隊司令部ニ當分ノ間貸與セシムベシ	三、艦長官ハ第二海軍航空廠ナシテ右兵器ヲ第一航空隊司令部ニ當分ノ間貸與セシムベシ	三、艦長官ハ第二海軍航空廠ナシテ右兵器ヲ第一航空隊司令部ニ當分ノ間貸與セシムベシ
				右ニ要スル補用兵器、整備兵器搭載兵器、消耗兵器ハ必要ニ依リ貸與並ニ供給スルコトキ得	右ニ要スル補用兵器、整備兵器搭載兵器、消耗兵器ハ必要ニ依リ貸與並ニ供給スルコトキ得	右ニ要スル補用兵器、整備兵器搭載兵器、消耗兵器ハ必要ニ依リ貸與並ニ供給スルコトキ得	右ニ要スル補用兵器、整備兵器搭載兵器、消耗兵器ハ必要ニ依リ貸與並ニ供給スルコトキ得	右ニ要スル補用兵器、整備兵器搭載兵器、消耗兵器ハ必要ニ依リ貸與並ニ供給スルコトキ得

海軍

(新規地)

十六日	一四五〇	十六日	一四五四	長崎監督官 橋 鎌 接 官 運送船
長崎監督官	橋 鎌 接 官	足摺本日〇八三〇無事進水終ル		
十六日	一四三〇	十六日	一六〇〇	伊勢湾防備支隊機密第二四九番電
伊勢湾防備支隊		沖 風 艦 長	、浮島ハ西航シ輸送船團ニ三四〇〇海護添シ沖風ハ	
指揮官		(橋鎌參謀長)	適宜掃蕩チ實施シタル後浮島リ船團護送ノ任務	
十六日	一六三〇	十六日	二二〇〇	三、浚渫船建設號(舊號兵來船)明十七日〇八〇〇大阪發十八日一二〇〇名古屋着ノ豫定沖風ハ潮岬附近ヨリ伊良湖迄直接護衛ヲナシ鳥羽ニ入港シ補給
大空襲部官隊		セ	セ引繼ケ	
十六日	一六三〇	十六日	二二〇〇	四、浚渫船建設號(舊號兵來船)明十七日〇八〇〇大阪發十八日一二〇〇名古屋着ノ豫定沖風ハ潮岬附近ヨリ伊良湖迄直接護衛ヲナシ鳥羽ニ入港シ補給
大空襲機密第一九四番電		セ	セ引繼ケ	
十五日	七機共ニ七〇〇架十六日北ヨリ二五〇架二 線七〇〇架三線五八〇架一線豫定區域ノ索敵チ實			
施襲狀ナシ				
十五日木更津航空隊中型攻撃機九機南鳥島ニ進出				
本十七日ヨリ常備配備ニ依ル日施索敵(十五度五 五度間六〇〇架三機)チ開始セリ				
尙在南鳥島大空基地員ハ本日木更津ニ空輸撤退テ				

了セリ

三十五、十六兩日哨艦艇四〇、敵飛行機或ハ國籍不明機數見ノ報アリシキ金部當隊索敵機ヲ誤認セルモノノ如シ飛行機型式判別ニ關スル見張教育ノ要アル者ノト認ム

十六日 一八〇〇	十六日 二二四〇
駆潛二十三艇長	駆潛二十三艇密第4一番電
二艦隊司令長官 軍令部總長、艦長官 大日本海軍	第二十三號駆潛艇、第二十四號駆潛艇十六日浦御船入渠役務ニ差支アリ 三十日出渠ノ豫定

電 領

發元日	時	受宛(通報時)	令達報告等	別種
十七日 一七一〇	一 般	橫鎌機密第六七六番電	無	
十七日 一七一〇	一 般	非當警報解除北緯三四度四〇分東經一三九度一四分電	十七日 一七一〇	
十七日 一七一〇	一 般	橫鎌機密第六七五番電	十七日 一七一〇	電

横鎌參謀長、大將、各
參謀長、阪警參謀長、東京、橫
濱、名古屋各在港防戰司
官、武官、空官、空軍、空軍
司令、各司、各司、各司、各司
長、軍令二、橫令

三十一聯空、二十六
部燃敵長、軍令、橫令

第一、一部

一般

横鎌機密第六七七番電

横鎌通商保護情報第五二號

一、橫鎌管區本日與狀ナキモ
將戒モ要ス

海軍

十七日	艦 鋪 長 官	海面防備部隊指揮官、第十三聯空司令官、艦空令	機密艦鋪信電令作第四七號
十六日	二二三〇	午後九時四〇分魚雷攻擊ヲ受ケ艦影ヲ認メ直ニ砲爆ス	四分及一七四五北緯三三度三〇分東經一三五度三五分ニ於テ敵潛水艦ノ攻撃ヲ受ケタル船アリ附近敵艦ナル警戒ヲ要ス
一監視司令	一監視司令	午後九時四〇分魚雷攻擊ヲ受ケ艦影ヲ認メ直ニ砲爆ス	午後九時四〇分魚雷攻擊ヲ受ケ艦影ヲ認メ直ニ砲爆ス
艦隊長官	艦鋪長官	午後九時四〇分魚雷攻擊ヲ受ケ艦影ヲ認メ直ニ砲爆ス	午後九時四〇分魚雷攻擊ヲ受ケ艦影ヲ認メ直ニ砲爆ス
十七日	〇一一二	午後九時四〇分魚雷攻擊ヲ受ケ艦影ヲ認メ直ニ砲爆ス	午後九時四〇分魚雷攻擊ヲ受ケ艦影ヲ認メ直ニ砲爆ス
十六日	二二三〇	午後九時四〇分魚雷攻擊ヲ受ケ艦影ヲ認メ直ニ砲爆ス	午後九時四〇分魚雷攻擊ヲ受ケ艦影ヲ認メ直ニ砲爆ス

			取計ハレ度
十六日	一六〇〇	十七日	〇一〇五
一 南	南 航 長 官	聯 合 航 隊 長 官	一 南 航 機 總 第 三 三 四 雷 電
西 船 陳 長 官	馬 來 部 隊 戰 圖 概 報 第 四 二 號	一 南 航 機 總 第 三 三 四 雷 電	一 南 航 機 總 第 三 三 四 雷 電
軍 令 部 總 長	一、第十一特別根據地隊戰圖概報第42號 （自五月二十日）	一、第十一特別根據地隊戰圖概報第42號 （自五月二十日）	一、第十一特別根據地隊戰圖概報第42號 （自五月二十日）
（各 鎮 長 官）	二、第十五次輸送（自五月五日）	二、第十五次輸送（自五月五日）	二、第十五次輸送（自五月五日）
	三、第十特別根據地隊司令官ハ第一掃海隊ヲシテ四月二十五日ヨリ五月七日迄ノ間昭南東方ノ味方潛水艦機雷敷設海面ヲ掃海シ機雷九個ヲ處分セ	三、第十特別根據地隊司令官ハ第一掃海隊ヲシテ四月二十五日ヨリ五月七日迄ノ間昭南東方ノ味方潛水艦機雷敷設海面ヲ掃海シ機雷九個ヲ處分セ	三、第十特別根據地隊司令官ハ第一掃海隊ヲシテ四月二十五日ヨリ五月七日迄ノ間昭南東方ノ味方潛水艦機雷敷設海面ヲ掃海シ機雷九個ヲ處分セ
	第一掃海隊ハ五月十三日ヨリ更ニ同海面ヲ清掃中、二十三日頃終了ノ豫定	第一掃海隊ハ五月十三日ヨリ更ニ同海面ヲ清掃中、二十三日頃終了ノ豫定	第一掃海隊ハ五月十三日ヨリ更ニ同海面ヲ清掃中、二十三日頃終了ノ豫定
三春	風及第七驅逐艦艇ハ第五驅逐隊司令指揮ノ下ニ陸軍運送船三隻ヲ護衛シ四月二十五日昭南	風及第七驅逐艦艇ハ第五驅逐隊司令指揮ノ下ニ陸軍運送船三隻ヲ護衛シ四月二十五日昭南	風及第七驅逐艦艇ハ第五驅逐隊司令指揮ノ下ニ陸軍運送船三隻ヲ護衛シ四月二十五日昭南
	五月二日「バタン」着	五月二日「バタン」着	五月二日「バタン」着
	海軍	海軍	海軍
	電	電	電

十六日	一六〇〇	十七日	C二四〇
一 南 遣 長 官		一 南 遣 機 密 第 二 三 四 番 電	24-7
聯 南 合 艦 隊 長 官 軍 令 部 總 長 (各 鎮 長 官)		四 第 十 特 根 司 令 官 八 第 四 四 捕 海 隊 ノ 以 テ 五 月 七 日 ヨ リ 昭 南 「 ベ ン デ ラ 」 岬 南 西 方 二 二 六 八 瀬 錨 地 ノ 掃 海 ノ 開 始 ス	
五 第 一 、 第 九 、 第 二 二 特 根 隊 ハ 各 擔 任 區 域 ニ 於 シ 五 月 十 三 日 昭 南 島 ニ 於 テ 陸 軍 輸 送 船 八 隻 (U 第 六 次 輸 送) ノ 護 衛 ヲ 實 施 チ		五 第 一 、 第 九 、 第 二 二 特 根 隊 ハ 各 擔 任 區 域 ニ 於 シ 五 月 十 三 日 昭 南 島 ニ 於 テ 敵 潛 水 艦 ヲ 發 見 之 ヲ 攻 撃 セ ル モ 効 果 確 實 ト 認 ム	
十一日 永 福 丸 及 右 水 偵 隊 ヲ 以 テ 搜 索 セ ル モ 敵 情 不 明 ナ リ		無	